

ほりえ 眞報36号

高速道開通から3カ月 たたらば壱番地の今



平日はやや落ちていたもの土・日祭日は大賑わい。トイレと吉田町はじめ市内への誘導対策が緊急課題。

三月末に中国道に繋がった松江道も三カ月が経過しました。開通後の交通量は開通前の1.8倍、五月の連休には2万台を超え、平均1万2千台余で前年比2.4倍になっています。一方で54号線では5〜6割の減少。総合的な交通量の増加により沿線の道の駅などの来客は多めに推移した状況です。また「たたらば壱番地」では出雲大社効果も加わり連日大盛況です。一方でトイレ利用客の急激な増加で浄化槽がパニック。トイレの設置、駐車場制限等の

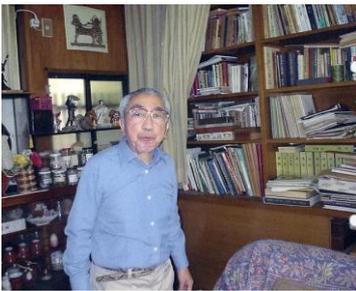
緊急的対応策が取られました。連休後トイレを節水型に取り換え、女性用トイレの増設も行われましたが現在全て供用する状況になっていません。今後原水タンクが建設されますが完成は10月。早期に浄化槽増設など抜本対策に着手して戴きたい。

「たたらば壱番地」は

国交省の除雪基地・チェーン脱着場に隣接して建てられた施設です。高速道から降りた左右の駐車場は**高速道路内**で、冬季のチェーンの脱着や除雪機械の基地です。機械庫の前の広場は**緊急時のヘリポート**として使用される重要な場所です。定期高速バスのスムーズな運行や回転に支障が出ることなく安全に利用されるためお互いにルールを守り駐車する必要があります。**課題のトイレ**入り口の「**縁石段差**」は国交省の理解を得て近日中に改善される予定です。当面「**身障者用駐車場**」が「**たたらば壱番地**」の正面玄関横にあります。そちらをご利用下さい。市内54号へ誘導策早急に必要。

窪田蔵郎文庫のすゝさ

窪田蔵郎先生を御存じでしょうか。窪田先生は大正15年のお生まれ、平成11年没。昭和24年日本鉄鋼連盟に就職26年ごろから古代の鉄滓（てつさい）のコレクションを始めます。金属考古学の中でも「鉄だけ」と云う狭い分野に傾倒すること約30年。金糞（かなくそ）マニアと言われるぐらい没頭。アジアを中心に世界中を歩く。名著「鉄の考古学」は司馬遼太郎氏の「街道をゆく」シリーズ第7巻「甲賀と伊賀の道、砂鉄の道ほか」に多数引用され、司馬氏が鉄に興味を抱かれる原点になっている。窪田氏から「全てを鉄の歴史村に寄付したい」との申し出を戴いた。小田原市のご自宅には所狭しと著書・蔵書・世界から蒐集された標本類が並んでいた。この書齋に泊まり込み卒論を仕上げた猛者もいると言う。



窪田先生。書齋に積まれた蔵書・資料全てを鉄の歴史村にご寄付戴いた。

鉄に興味のある方、鉄を学ぶなら吉田町・鉄の歴史村「窪田蔵郎文庫」に是非足を運んで下さい。今年12月 窪田先生の3回忌です。ご冥福を祈ります。

村下屋敷と三番屋敷、国の重要文化財に追加指定決定。

一月に答申のあった菅谷高殿に隣接した通称「三軒長屋」が国の重要文化財に追加指定されました。菅谷高殿施設は現在五年計画で解体修理中です。高殿部分は当初5年度に完了予定でしたが予想以上に損傷が著しく一旦解体補修し組み直しを行うため一年間工期が延長されます。新しく指定された三軒長屋は27〜28年度に改修される予定。総事業費5億3千万円余。

市政施行10周年記念事業

来年11月に10周年を迎えます。市では記念事業の一つとして「雲南市の歌」を作ることになりました。作詞は公募。ただし雲南市にゆかりのある方。作曲者は指名し委託すること。ご応募を。

編集後記

空梅雨が心配されましたがここところ梅雨らしい天気になりました。皆さんひと安心でしょう。毎年梅雨明け前の豪雨が心配されます。未改良の道路など早期に対策と計画された工事の早期発注を願います。いよいよ今年も後半です。御身大切に